

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

平成30年度川崎異業種研究会通常総会を開催

5月10日(木)当所にて、会員14名、オブザーバー2名の参加者を得て開催した。

菅原会長から平成30年度事業方針として「川崎異業種研究会の活力増強」が示され、事業内容として以下の3つの骨子が述べられた。(1)会員交流事業の促進(定例会、勉強会、県外視察会)(2)会員増強活動の促進(3)企業間連携・産学官連携事業への促進

また、以下の議案が満場一致で承認された。

- (1)平成29年度事業報告および収支決算承認の件
- (2)平成30年度事業計画(案)および収支予算(案)承認の件
- (3)役員改選の件

総会に続いて、講演会を開催、28名の参加者を得た。講師にモーグルスキーヤーで平昌オリンピックにも出場された西伸幸氏、聞き手にフリーアナウンサーでかわさき産業親善大使の秋山雅子氏を迎えた。講演は「東京オリンピック・パラリンピックへの提言～平昌オリンピックを振り返って～」をテーマに対談形式で行われた。講演に先立ち、川崎市オリンピック・パラリンピック推進室担当課長井上強氏より川崎市の取り組みについて説明があった。川崎市は、東京オリンピック・パラリンピックを機に、2016年から「かわさきパラムーブメント」に取り組んでいる。本市は開催都市に最も近い都市の一つとして大会期間中は国内外の多くの人々が訪れることも予想される。この大会の機運を最大限に活用し、誰もが自分らしく暮らし自己実現を目指す地域づくりを目指している。英国代表チームの事前キャンプの受け入れ、駅のバリアフリー化、障がい者の就労体験ほか、具体的な取り組み事例が紹介され、一同興味深く耳を傾けた。川崎市の説明に続き、対談が始まった。五輪3大会(バンクーバー、ソチ、平昌)に出場され、数々の世界大会でも活躍された西氏は川崎市幸区出身。雪のない川崎でモーグルスキーに出会い、トップに上り詰めるまでの経緯や、競技の魅力、そしてオリンピックに臨む緊張感などが語られた。



総会議長を務める菅原会長

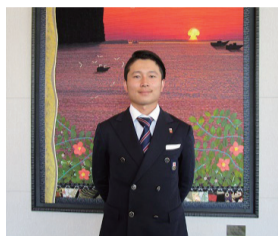
西氏のテーマソングも流れた。西氏のために作られたオリジナル応援ソングで、歌詞の中に「カワサキシティ！」とシャウトする部分がある。西氏が「川崎」を是非歌詞に入れてほしいと希望したそうだ。

また2020年東京五輪に向けて、運営や設備面について経験

選手ならではの目線から思いが述べられた。選手が思い切りプレーできるよう安心できる設備、そして会場の外においても、選手の家族や応援者に笑顔で接し、歓迎ムードひいては日本の良さも伝えたいとの言葉には、3大会を経験された重みがあった。

西氏は今大会で引退され、今後はコーチとして後進の指導にあたられる。新たに川崎からオリンピック選手が生まれることを期待すると力強く語られた。

最後に、菅原会長からお礼の言葉と記念品の川崎銘菓が渡され、好評を博した講演が終了した。



講師の西氏



ありがとうございました

講演会終了後は、懇親会を開催した。菅原会長の挨拶、川崎商工会議所 山田会頭の来賓挨拶、来賓紹介の後、公益財団法人川崎市産業振興財団理事長 曾禰純一郎氏の乾杯発声により開宴した。終始



山田会頭挨拶



曾禰氏による乾杯

和やかな雰囲気の中で親睦を深めた。中締めは紀中顧問が務め、盛会裏のうち散会となった。



これから頑張ってください！

5月勉強会

5月24日(木)午後6時30分から、中原市民館にて5月勉強会を開催した。当会は今年度より、名称を「分科会」から「勉強会」に改め、参加対象も会員企業の従業員や会員以外にも拡げ、これまで以上に役立つ講習会を実施し、充実を目指している。今回は、和光大学准教授 杉本昌昭氏を講師に迎え「クラウドファンディングの仕組みと事例紹介」をテーマに講義が行われた。会員8名、和光大学学生6名の参加者を得た。

講師の専攻である社会学やリテラシーからのアプローチの説明で、大変興味深く話を聞いた。懇親会では具体的な事例等をお互い交換し、成功例、失敗例等をわかりやすく話して頂いた。



5月勉強会の様子

会に続いて、最先端技術がテーマだ。

講演では第4次産業革命について、具体的な事例を交えわかりやすく説明頂いた。特に注目されている技術として、コンピュータやモバイルのデジタル技術、ビッグデータの解析技術、自動車、住居、衣服等をシェアするシェアリングエコノミー、人工知能(AI)やロボットの活用、金融と技術を組み合わせたフィンテックなどをあげられ、それぞれについて詳しく



講師の小林氏

述べられた。QRコード決済や、超スマート社会への動きなど、最先端の状況に参加者は興味深く耳を傾けた。

講演後の懇親会は、これまで立食形式であったところ、新しい試みとして近隣店舗にて着座式で行われた。参加者は膝を交えて語り合い親睦を深めた。

6月定例会

6月14日(木)当所にて6月定例会を開催した。会員9名、オブザーバー3名、和光大学学生5名の参加者を得た。今回は、「第4次産業革命のゆくえ」と題し、和光大学経済経営学部教授 小林稔氏による講演が行われた。

当会は今年度、IT、働き方改革、高齢化社会に伴う健康維持をテーマとして講演会を企画している。今回は、5月に行われた「クラウドファンディングの仕組みについて」の勉強



聴講する参加者

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191